

第4学年 国語科学習指導案

平成27年11月13日(金)第5校時

授業者 堀島 行訓

1. 単元名

説明のしかたについて考えよう

説明のしかたを工夫して、分かりやすく
伝える文章を書こう

2. 教材名 「アップとルーズで伝える」 「クラブ活動リーフレットを 作ろう」

3. 指導の立場

「アップとルーズで伝える」は、私たちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。アップやルーズで伝えることによって、意図的に伝える側が何を伝えたいのか考え、伝えていることを理解させたい。この教材を通して伝えたいことが何なのか判断し、自分でも写真と対応させたアップやルーズの技法を使っていけるようにしたい。

各段落の役割や段落相互の関係は3年の「すがたをかえる大豆」で学習しており、本単元では、段落の対比関係を学習する。ここで学習した文章構成は、第三次の「クラブ活動リーフレットを作ろう」で生かしていく。また、写真や絵、図と文章を対応させて読むことは、2年「しかけカードの作り方」、3年「すがたをかえる大豆」、4年「動いて、考えて、また動く」で行っており容易につかむことができると考える。

本単元では、単に写真と文章の対応だけでなく、対比して述べられていることや、写真から読み取れることが文章で描写されていることなどを意識させたい。児童は、物語文などでは、登場人物の気持ちになって素直な読み取りができる。だが、説明文となると抵抗を感じ、クラスの半数は、説明文を苦

手だと思っている。そのため、読み取ったことを教科書に線を引きながら、また、写真と文章をどの部分の説明なのか線で結び対応させながら学習を進めることで内容を読み取らせていきたい。まずは、それぞれの写真を説明する段落を見つけさせ、段落どうしが対比関係になっているだけでなく、段落の中でも対比が用いられていることに気づかせたい。その上で、段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えさせたい。

4. 研究内容の視点から

○研究内容1に関わって

全15時間の単元指導計画である。第一次では、単元を貫く課題を知らせ、単元の見通しをもたせ計画を立てる。第二次では、本文の読み取りを中心に、「段落相互の関係」や「対比」などを読み取っていく。第三次では、「アップとルーズで伝える」で読み取った筆者の工夫を「クラブ活動リーフレットを作ろう」に生かし、写真を使って説明したり、文章構成、段落相互の関係に注意したりして「クラブ活動リーフレット」を完成させる。

○研究内容2に関わって

交流の形態

読み取ったことを伝え合い、友達の意見を聞いて学習し「筆者の説明の工夫について」交流する中で、本単元のねらいについて迫ることができるものと考え。

深めの発問

「アップ」や「ルーズ」で取り上げるそれぞれのよさを見つけさせるために、「アップ」と「ルーズ」のそれぞれのよいところだけで書かれていたらどうだろうかということについて問いかけ、アップとルーズの長所がそれぞれの短所を補う関係になっていることをつかませる。

学習のまとめ

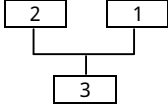
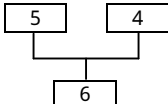
まとめの段階で、自分で考えて書く力をつけるために、書き始めの言葉とキーワードを与え、そのキーワードを用いて書くことができるようにしていく。

5 . 単元指導計画

単元の目標

- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。(読イ)
- 写真と対応した部分を注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめることができる。(読工)
- 書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。(書イウ)
- 句読点を適切に打ち、段落の始めなど必要な箇所は行を改めることができる。(伝イ)

単元を貫く課題
3年生の友だちにクラブ活動の楽しさを分かりやすく説明するために説明のしかたを工夫して文章を書こう。

	時	ねらい	学習活動	筆者の説明の工夫	評価規準(評価方法)
第一次	1	全文を通読し、学習の見通しをもつことができる。	1. 単元名やリード文を読む。 「アップとルーズで伝える」を読んで学習計画を立てよう。 2. 感想を発表する。 3. 本時の課題を確認する。 4. 単元を貫く課題を知る。 5. 課題を達成するための学習計画を立てる。	題名	【関】学習の見通しをもち、説明的文章を自分の経験や知識と照らし合わせて読むことに意欲を持っている。(観察)
	2	写真と文章の対応を考えながら読み、筆者が伝えたいことを考えることができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 第 段落から第 段落までを読んで、筆者が伝えたいことを考えよう。 2. 第 段落までの本文を音読する。 3. 写真と文章の対応について考える。 4. 第 段落～第 段落の関係を文図で表す。 5. 読んで見つけた「上手な説明のしかた」を書く。	段落どうしの関係 	【読】段落相互の関係を読み取り、「アップ」と「ルーズ」という言葉の意味を理解している。(観察・発言)
第二次	3	写真と文章を対応させて、アップとルーズの説明の仕方の工夫について読み取ることができる。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の学習課題を確認する。 第 段落から第 段落を読んで、筆者の説明の工夫を見つけよう。 3. 第 段落から第 段落を音読する。 4. 写真のある段落を確かめ、その写真を説明している言葉をノートに書き出す。 5. 第 段落～第 段落の説明の仕方で工夫している点をまとめる。	絵・写真・図・グラフと文をつなげる。	【読】段落相互の関係から、筆者の説明の仕方を読み取っている。(発言・ノート)
	4	写真と文章の対応を考えながら読み、第 段落までで筆者が伝えたいことを考えることができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 第 段落から第 段落までを読んで、筆者が伝えたいことを考えよう。 2. 第 段落から第 段落までを音読する。 3. 写真と文章の対応について考える。 4. 第 段落から第 段落までの関係を文図で表す。 5. 読んで見つけた「上手な説明のしかた」を書く。	つなぎ言葉 段落どうしの関係 	【読】段落相互の関係を読み取り、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所について、理解している。(発言・ノート)
	5 本時	第 段落から第 段落を読み、写真と文章の対応、接続語や対比の使い方、段落相互の關係に気付き、筆者の説明の工夫を読み取ることができる。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の学習課題を確認する。 第 段落から第 段落を読んで、筆者の説明の工夫を見つけよう。 3. 第 段落から第 段落を音読する。 4. 写真のある段落を確かめ、その写真を説明している言葉をノートに書き出す。 5. 第 段落～第 段落の説明の仕方で工夫している点をまとめる。	対比 絵・写真・図・グラフと文をつなげる。	【読】段落相互の関係から、筆者の説明の仕方を読み取っている。(発言・ノート)

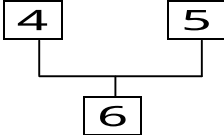
	6	第 段落と第 段落の役割を考えて、アップとルーズの使い分けについてまとめることができる。	1. 前時の振り返りをする。 2. 本時の学習課題を確認する。 第 段落と第 段落を書いた筆者のねらいを考えよう。 3. 筆者の説明のしかたで工夫している点を確認する。 4. どうして 段落と 段落があるのか筆者の意図を考える。 5. 第 段落の役割について考える。	段落どうしの関係	【読】段落相互の関係から筆者の説明の仕方を読み取っている。(ノート)
	7	筆者の文章の組み立てを考えて読むことができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 段落どうしの関係を考えて、文章全体の組み立てを図に表そう。 2. 「アップとルーズで伝える」を音読する。 3. 文章全体を大きく三つに分ける。 4. 段落から第 段落までを読み、段落相互の関係について考える。 5. 段落と段落がつながっていることが分かる言葉を見つけ、つながりを考える。 6. 第 段落、第 段落の関係について考える。	段落どうしの関係	【読】段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。(ノート・発言) 【読】段落相互の関係を考えて文図で表すことができる。(発言・ノート)
第三次	8	クラブ活動リーフレットを作る見通しをもつことができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 クラブ活動リーフレットを作る見通しをもとう。 2. 伝える相手を確認、クラブ活動で取り組んでいる様子を話し合う。 3. 学習計画を立てる。 4. 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。		【関】写真と文章を組み合わせて、クラブ活動の内容を伝えることに意欲をもっている。(発言)
	9 10	説明する相手と内容を決め、クラブ活動のよさを伝えることができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 伝えたいクラブ活動のよさやどんな写真を使って説明するか考えよう。 2. どんな写真を使うかを決める。 3. クラブ活動のよさについて話し合う。 4. 伝えたいクラブ活動のよさについて書く。 5. 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。		【書】伝えたいクラブ活動のよさを考えながら書くことができる。(ノート)
	11 12	「初め」「中」「終わり」の構成で文章の組み立てを考えることができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 文章の組み立てを考え、書きたい内容を考えよう。 2. 「初め」「中」「終わり」に書く内容について箇条書きで書く。 3. 写真と文章を対応させる文章を考える。 4. 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。		【書】「初め」「中」「終わり」に書く内容について箇条書きで書くことができる。(ノート)
	13 14	写真と文章を対応させて、「クラブ活動リーフレット」を完成させることができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 クラブ活動のよさが伝わるようにリーフレットを仕上げよう。 2. 下書きを見直し、清書する。 3. 書いたものを読み返す。 4. 次時への見通しをもつ。		【書】写真と文章を対応させながら、クラブ活動リーフレットを完成させることができる。(ノート)
	15	友達のリーフレットを読んで、よさを伝え合うことができる。	1. 本時の学習課題を確認する。 リーフレットを読みあって、感想を伝え合おう。 2. 文章を読み合う時の観点を確かめる。 3. 文章を読み合い意見や感想を伝え合う。 4. 単元の学習を振り返る。	終わりの言い方 つなぎ言葉 段落どうしの関係 絵・写真・図・グラフと文をつなげる。	【書】友達のリーフレットを読んで、よさを見つけ、伝えたい。(発言)

6. 本時の展開 (5 / 1 5)

(1) 本時のねらい

第 段落から 段落を読み、写真と文章の対応、接続語や対比の使い方、段落相互の関係に気付き、筆者の説明の工夫を読み取ることができる。

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ【5分】	前時の学習内容から、本時の課題をつかむことができる。	1. 前時の振り返りの後、本時の課題を確認する。 ・ゴール直後の写真は、アップだった。 ・試合が終わった時は、ルールだった。 ・ルールで撮ると選手の顔つきが分かりません。前時の内容を振り返る。 2. 本時の学習課題を確認する。 第 段落から第 段落を読んで、筆者の説明の工夫を見つけよう。	・全員が挙手できる問題を提示する。 ・アップとルールについて確認する。
さぐる【25分】	からを文章に注意しながら、対応、対比、段落相互の関係を読み取ることができる。	3. 課題を解決するための見通しをもつ。 「説明文の読みのかぎ」をヒントに「対比」「段落どうしの関係」「写真と文をつなげること」が使えるであることを確認する。 4. から 段落を音読する。 5. 「説明文の読みのかぎ」をヒントに一人読みをする。 ・段落と 段落は、アップとルールを比べて違いをはっきりさせている。 ・段落の中で「しかし」というつなぎ言葉があり、つなぎ言葉の前でアップの長所が、後で短所が書かれている。 ・段落の中で「でも」というつなぎ言葉があり、つなぎ言葉の前にルールの長所が、後で短所が書かれている。 ・「このように」という言葉の後で前の二つの段落をまとめている。 6. 全体交流をする。一人読みをして見つけた筆者の工夫について発表する。	・「説明文の読みのかぎ」を見て課題解決のための手がかりになることを確認し、一人読みに役立てる。 ・「このように」というのは、どの段落を指すのか思い起こさせる。 ・段落相互の関係について確認する。 
深める【8分】	筆者の工夫を考えることができる。	7. 考えを深める。 アップとルールのよいところだけで書かれていたらどうだろう。 ・アップでは、細かい部分の様子がよく分かる。ルールは、広い範囲の様子がよく分かる。 ・アップでわからないところをルールが、ルールでわからないところをアップで説明している。	・アップ、ルールのそれぞれのいいところを比べることで、伝えられないものを互いに補う関係になっていることがわかる。
まとめる【7分】	本時の学習内容をまとめることができる。	8. 本時のまとめをする。 筆者は、写真と文を対応させたり、二つのものをくらべて対比させたりして説明している。また、段落と 段落のことを段落でこのようにという言葉の後にまとめている。 9. 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	評価規準・評価方法 【読むこと】 対応、対比、段落相互の関係を見つけている。(発言・ノート)